

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 1月 日

事業所名 すだちクラブ 配布 7件 / 回収 7件

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	1		・構造化している。	・活動内容で部屋を別けていますが、限られたスペースしかないため、定期的な構造化の見直しが必要だと感じています。 ・個別支援の際、子供たちが安心、安全に支援を受けられるような場所を確保します。
	2 職員の配置数は適切である	6	1			・子供同士の関わりを大切にしているため、訓練室は大人の数を調整しています。 ・事前に個別対応をする職員を決めています。	・時間帯が重なる際の送迎、来所時は、一時的に人員不足になります。新型コロナウイルス感染予防のための消毒、検温等がスケジュールに追加されたことで通常より職員の負担が増えていますが、非接触型体温計を使用する等して混雑時の職員の負担を軽減しています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	4	2		・階段は滑り防止マットを使用し、昇降時はスタッフが付き添うか見守りをしています。	・ケガに繋がる恐れのある段差や扉は、更なる防止策を施します。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1	1		・職員間のコミュニケーション、ミーティング、所内研修で周知しています。	・月1回、全職員を集めて研修や意見交換を行っていますが、それ以上集まることは難しいです。日々のコミュニケーションを大切に、今以上に日頃から話し合える環境を作ります。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			1	・意見が必要だと思われる支援についてアンケート調査を行っています。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			1		・ホームページで公開しています。 ・保護者、職員へ配布しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	3	2		・機会があればお願いしたいです。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7				・月1回の所内研修は、専門家による研修を行っており、職員のスキルアップにつなげています。	・障がい特性を知る、具体的な支援方法を学べる機会を増やします。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7				・日々の記録を振り返りながら行動分析し、強みや課題を見つけられています。	・保護者や子供たちが自分の強みや課題を意識できるような計画書が作成できるよう工夫します
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	1			・標準化されたアセスメントツールを使用しています。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1		1	・集団活動、長期休暇中の活動内容は予め担当者が決め、その後常勤職員で決定しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7				・日替わりで提供しています。	・集団活動にこだわり、5つの活動(造形活動・SST・ゲーム・季節の活動・巧緻動作訓練)を日替わりで提供します。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1			・特に長期休暇は、普段体験しない活動を増やし、経験を増やすことで自信につなげます。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		1	・特に個別が必要な児童は、場面ごとに区切り、他児と活動を別けています。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1			・常勤職員でミーティングを行い、非常勤職員へ議事録、口頭で周知しています。	・気になる児童は、念入りに支援内容の打ち合わせを行い、振り返りを行っています。
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1		1	・当日の送迎職員と振り返る時間は少ないですが、その日のうちに気づきを共有しています。		

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1			・その日のうちに記録をとり、保護者へ公開しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			1		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	2		1		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7				・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		1		・送迎の際、担任から様子を聞いたり、連携ノートで情報共有しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				7	・該当なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	4				・相談員を介して情報共有していますが、児童により児童発達支援事業所も含めた支援会議を行うこともあります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2	1	2	・該当なし	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7				・年に二回、専門機関に依頼し研修を行いました。	・特性に特化した研修を増やしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			5	2	・該当なし	・今後、機会があれば検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		1	4	2	・支える専門部会(児童分野)に参加しています。	・他事業所の児発管と積極的に意見交換が出来れば良いなと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				・HUGで記録を公開したり、送迎時に様子を伝えています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6			1	・月1回の家族会では、ペアレントプログラムを開催しました。	・来年度も引き続き、保護者向けの企画を検討しています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			1	・必要だと思われる際に口頭で説明を行っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1			・対面、電話等で助言、支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6			1	・月1回土曜日に家族会を開催しました。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			1		・苦情を受け付けた際は、迅速に対応させていただきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	2			・月1回すだちだよりを発行しています。HUGに活動概要を掲載したり、長期休暇前はお便りを配布しています。	
	35	個人情報に十分注意している	7				・知り得た情報は適宜、保護者の許可をとってから関係機関と共有するようにしています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	1			・一番伝わりやすい方法を考え、伝えています。	・基本、口頭でやり取りをします。対面で話すことが一番誤解が少なく意思疎通ができると感じています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	2	1		・年1回地域交流を行っていましたが、今年度はコロナの関係で中止しました。来年度は、出来れば良いなと思います。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1				・新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを策定中です。業務運営マニュアルを一部見直し中です。策定次第、配布します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7				・年2回、各曜日ごとに避難訓練を行っています。	・避難場所まで徒歩で避難しています。実際の災害を想定して、対象児童は車両も使用し避難しました。

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				・年2回、虐待防止研修を行い、日頃の支援を振り返っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	7				・個別支援計画書へ具体的に記載し説明を行っています。	・該当しない内容であっても、何かあればその日のうちに保護者へ口頭で連絡しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				7	・該当なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7				・独自のヒヤリハット報告書を使用し、常時閲覧可能にしています。更に連絡会議事録や口頭で周知しています。	・ヒヤリハット事例が発生した際は、必ず振り返りを行い、対応策、予防策を考え、支援と統一させています。